



2025年11月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 笑 美 面
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 榎 並 将 志
(コード番号: 9237 東証グロース市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 木 下 裕 司
(TEL. 06-6459-0777)

2025年10月期の通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年12月13日に公表いたしました2025年10月期(2024年11月1日～2025年10月31日)の連結業績予想につきまして修正をいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年10月期通期連結業績予想の修正 (2024年11月1日～2025年10月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,035	百万円 261	百万円 259	百万円 224	円 錢 55.19
今回修正予想 (B)	1,890	115	114	100	24.63
増減額 (B-A)	△145	△146	△145	△124	
増減率 (%)	△7.1	△55.9	△56.0	△55.4	

(注) 2025年10月10日開催の取締役会により、2025年10月31日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前回発表予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後による調整後の株式数を用いて算定しております。

2. 差異理由

通期連結業績予想につきましては、シニアライフサポート事業において、シニアホーム入居に至った成約数を表すスマイル数が、当期目標の5,500件に対し、約4,700件での着地となり、営業収益が前回予想を下回る見込みとなりました。

スマイル数が下回った要因として、2025年10月期に採用を予定していたコーディネーター50名超の採用については計画通り達成したものの、採用タイミングの遅れや、採

用後の育成の遅れが発生したことにより、当初計画に比し戦力化が遅れたことが挙げられます。

また営業費用につきましては、当初計画において約 100 百万円の計上を予定していた採用費についてはリファラル採用の推進等により 75 百万円程度まで抑制ができたもの、人件費を中心に概ね当初計画通りの予算消化が行われました。これにより営業収益の下振れの影響を受け、営業利益についても前回予想を下回っております。

なお新人コーディネーターの育成につきましては立ち上がりが進んできており、育成を行う管理職に対する育成の強化や、教育コンテンツの見直し、組織体制の変更など現状進めている改善施策を更に進めることで、2026 年 10 月期の早期の段階での戦力化遅れの解消を見込んでおります。

※業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性がございます。

以上